

ネイチャーセンターだより



4月のみどころ

【上旬】

ネイチャーセンター周辺ではフクジュソウが見頃を迎え、太陽の光を受けた花びらが金色に輝く様子が見られます。また、赤い仏炎苞が美しいザゼンソウもこの時期に見頃を迎えます。風蓮湖ではタンチョウが雪解けを迎えた湿原で繁殖の準備をしています。干潟には、ミヤコドリが渡りの途中に訪れ、好物の二枚貝を食べるなどして羽を休めます。



フクジュソウ

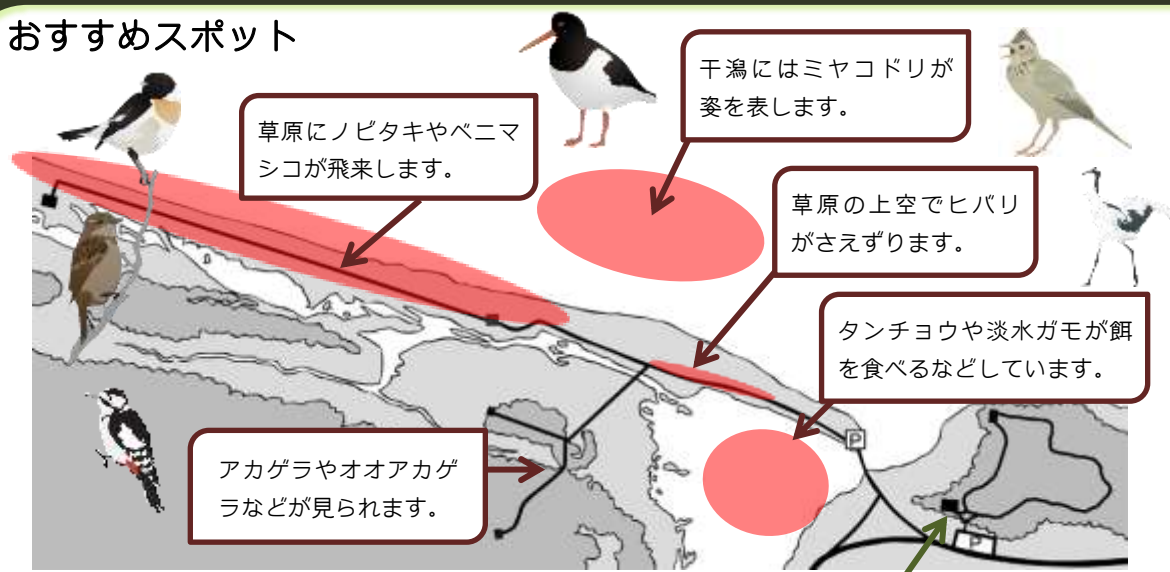
【下旬】

フクジュソウ、ザゼンソウと入れ替わるようにミズバシヨウが春国岱やネイチャーセンターに隣接する自然学習林の湿地で花を咲かせます。また、草原や森などからはノビタキやシジウカラ、ルリビタキなど、繁殖期を迎えた小鳥たちのさえずりが賑やかに聞こえてきます。冬眠していたクジャクチョウが目覚め、ヒラヒラと花の周りを飛ぶ姿も見られ始めます。



ルリビタキ

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

鳥が教えてくれる環境のすばらしさ

雪解けが進み、春国岱に春の気配が感じられるようになると、森や草原、干潟、湖沼など、春国岱や風蓮湖の様々な場所に、冬には見られなかった、たくさんの種類の野鳥がやって来ます。



ミヤコドリ

あまり光の入らない森の中では、ルリビタキが好物のミミズやクモなどを探しています。地面にいる生き物が好物なので、時々、地上に降りてはピョンピョンと跳ねながらエサをさがします。草原では、ノビタキが葉についたイモムシを獲っています。葉の裏に隠れていてもちゃんと探し当てることができます。さらに空を飛んでいるハエをそのままフライングキャッチするなど、軽やかな動きで虫を捕まえることもあります。春国岱の周辺などに現れる干潟では、ミヤコドリが長いクチバシを何度も地面に突き刺して、好物の二枚貝を捕えています。また、湖の浅い所では、オナガガモなど淡水カモたちが、お尻を水面から突き出して一生懸命に水中に首を伸ばして水草を食べています。

このように鳥は種類によって異なる採餌環境を利用して、それぞれに合ったエサを取っています。春国岱・風蓮湖では、2012年4月だけでも47種類もの野鳥が観察されています。日本の中で、これだけ多くの種類の野鳥が集まれる場所はそう多くありません。野鳥たちは春国岱・風蓮湖が多様で豊かな自然環境がある素晴らしい場所だということを教えてくれます。

春国岱クイズ

春、風蓮湖にはオナガガモやヒドリガモなどの主に水草を食べて生活する淡水ガモが旅の疲れを癒しに訪れます。彼らがエサを食べるときにとらない行動はどれでしょう？（A、Bの中から答えを選んでください。）

ヒント：風蓮湖のカモたちの様子を観察してみよう！



A. もぐる

B. 逆立ちをする

答えは次号に掲載します。（先月号の答え…B）

いきもの図鑑



英名 Common Kingfisher 学名 Alcedo atthis

カワセミ（カワセミ科）

体長17cmほどの鳥で、春から秋にかけて風蓮湖に流れ込む川などで小魚や水生昆虫を獲って暮らします。水辺の宝石と呼ばれるほど美しい羽色をしており、翼に薄い青色の斑があり、光の具合で青色や緑色に見えます。とても小さく見つけにくい鳥ですが、「キー」と高い声で鳴きながら直線的に飛ぶ姿はよく目立ちます。

レポート

ワシ類個体数調査 結果

1月下旬から2月下旬にかけて計4回、風蓮湖・温根沼に飛来するオオワシ、オジロワシの個体数調査を行いました。

今年の個体数のピークは2月上旬で、2月4日の調査では全体で1244羽のワシを確認しました。2月中旬過ぎから次第に数が減り、2月23日の調査では、全体で200羽という結果になりました。調査を始めた2000年以降で初めて、オオワシの最大個体数が1000羽を超えました。



風蓮湖のオオワシ

春のオオハクチョウ個体数調査 結果

春の渡りにあわせ、3月8日にオオハクチョウの個体数調査を行いました。3月8日は風蓮湖・温根沼で278羽が確認されました。今シーズン最後の調査を3月30日に予定しています。例年3月末にオオハクチョウの個体数がピークになります。ピーク時には3000羽ほどのオオハクチョウが風蓮湖・温根沼に飛来します。



オオハクチョウの群れ

フィールド講座②タンチョウの素顔

～根室は釧路に負けず劣らずツルの街～開催

3月10日、フィールド講座②「タンチョウの素顔～根室は釧路に負けず劣らずツルの街～」を開催しました。

専門家に風蓮湖・春国岱の生き物や自然について伺う講座で、今回は、タンチョウの標識調査などを行っている高田令子氏（ニムオロ自然研究会）から、風蓮湖・春国岱にも生息するタンチョウをテーマに、タンチョウの特徴的な行動や繁殖地での出来事、移動経路、また根室地域がタンチョウにとってどんな場所かなどをお話しいただきました。参加者から、「タンチョウの生態と今後の問題点がよくわかりました」などの感想をいただきました。



講座の様子

NEWS

ハシブトガラの巣


繁殖期を前に、ネイチャーセンターの周辺に設置した小鳥の巣箱の掃除をしました。昨シーズン、巣箱の1つをハシブトガラが利用し、巣材を運んだり、エサを運んだりする様子が確認されました。この巣箱の中には、コケやシカの毛などで作られた立派な巣が出来ていました。巣は、厚さ5～6cmもある外巢に深さ4cm位の産座のくぼみが作られていました。取り出した巣はネイチャーセンター1階のカウンターに展示しています。



ハシブトガラの巣箱（内部）

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…
春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
5 / 25 6:00~8:30	春国岱バードウォッチング 春国岱の観察路を歩きながら、子育てシーズンの野鳥の様子を観察します。 	100円	定員 20名（先着） 5/20 までにお申込みください ※小学生以上、小学生は保護者同伴 ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる暖かい服装、あれば双眼鏡
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでおもちゃの中にかくされた“本物”を探すゲームに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。

※重要なお知らせ

春国岱橋の補修工事のため、春国岱が利用できなくなります。

■期間：平成 25 年 7 月 16 日～8 月 31 日

大変ご迷惑をおかけいたします。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、春国岱ネイチャーセンターと自然学習林は工事期間中も通常通りご利用いただけます。



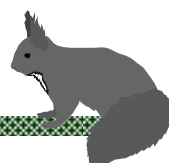
ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスンクと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300円
ボランティアグループスンク 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆4月の休館日：3,10,17,24日

◆4月の開館時間：9:00~17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）